

2019 年度

自己点検・評価報告書

令和2年3月31日現在

東京商科・法科学院専門学校

目 次

基準 1	教育理念・目的・育成人材像	1
1-1	理念・目的・育成人材像	2
基準 2	学校運営	3
2-2	運営方針	4
2-3	事業計画	5
2-4	運営組織	6
2-5	人事・給与制度	7
2-6	意思決定システム	8
2-7	情報システム	9
基準 3	教育活動	10
3-8	目標の設定	11
3-9	教育方法・評価等	12
3-10	成績評価・単位認定等	13
3-11	資格・免許取得の指導体制	14
3-12	教員・教員組織	15
基準 4	学修成果	16
4-13	就職率	17
4-14	資格・免許の取得率	18
4-15	卒業生の社会的評価	19
基準 5	学生支援	20
5-16	就職等進路	21
5-17	中途退学への対応	22
5-18	学生相談	23
5-19	学生生活	24
5-20	保護者との連携	25
5-21	卒業生・社会人	26

基準 6	教育環境	27
6-22	施設・設備等	28
6-23	学外実習、インターンシップ等	29
6-24	防災・安全管理	30
基準 7	学生の募集と受入れ	31
7-25	学生募集活動	32
7-26	入学選考	33
7-27	学納金	34
基準 8	財務	35
8-28	財務基盤	36
8-29	予算・収支計画	37
8-30	監査	38
8-31	財務情報の公開	39
基準 9	法令等の遵守	40
9-32	関係法令、設置基準等の遵守	41
9-33	個人情報保護	42
9-34	学校評価	43
9-35	教育情報の公開	44
基準 10	社会貢献・地域貢献	45
10-36	社会貢献・地域貢献	46
10-37	ボランティア活動	47

基準1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括
<p>教育理念・目的</p> <p>本学園の教育理念は、学生に対する資格取得に向けた教育、実務に適合した教育を行ない、実社会において真に有能な人材を育成することである。</p>
<p>教育目標(育成人材像)</p> <p>学生が将来就職する各業界において必要とされるビジネス全般、公務員、法律実務に関する専門的な知識と技術などの、基本行動を習得させることを目標とし、実社会における真に有能な人材の養成を目標としている。</p>
<p>教育方針</p> <p>本学園では、教育方針として、実学教育、自主自立、和衷共同、知育体育の4つを挙げている。</p>

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	3	学園の教育理念が具体的に明文化されており、目的や人材育成像も明らかになっている。	特になし	学則 学生ハンドブック
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3	学科ごとに教育目標、学習内容を明確にするとともに、それが業界・社会のニーズに合致するように学習内容を設計している。	今後も社会・業界のニーズの把握に努め、それに対応した人材育成を目指し、教育目標の見直しを図っていく。	学生ハンドブック
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3	少人数制で、個々の学生に目を配る教育を実践している。	入学生の学力・意欲等の状況に応じて、人材育成のためのよりよい教育カリキュラムの編成に努める。	本校ホームページ 募集要項
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3	社会が求める教育内容について調査し、中長期的に新規学科・コースの設置や既存学科・コースの教育内容の見直しをしている。	社会が求める教育内容についての調査・研究を怠らず、その変化を素早く察知し、それを柔軟に教育内容に取り入れていく体制を強化していく必要がある。	事業計画書等

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>教育指導方針としては、就職後の早期離職を防止することなど人生における困難に立ち向かう姿勢を身に付けさせること、すなわち、「大きな壁を超えるチカラをみにつける」ことを人材育成の基本とし、学生一人ひとりと向き合う教育を行なうことが中核となる。</p> <p>授業では、各授業時間ごとのミニテストの実施や、少人数制を活かして「わからないことがあったらその日のうちに解決」することができるように、個々の学生に対応した指導を行なっている。</p>	特になし

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

基準2 学校運営

大項目総括

理事会・評議員会は、寄付行為に基づき適切に開催し、必要な審議を行ない、議事録を作成している。

学園全体の組織運営や意思決定は、理事会・評議員会で行なわれ、具体的な学校運営については、校長を中心とした運営会議で定められている。

理事会・評議員会で決定された事項につき、実施・推進に取り組む体制が整備されている。

2-2 運営方針

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4	学園全体の運営方針は理事会・評議員会で定められ、その方針の下で運営会議で詳細を決定している。	運営方針の教育現場への浸透の度合いを継続的に点検・確認していく。	理事会議事録 運営会議議事録

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学園全体の運営方針は理事会・評議員会で決定され、学校運営の具体的な内容は校長を中心とした運営会議で定められている。そして、決定事項は、教職員会議や朝礼などで教職員に告知される。さらに、これらの決定に基づき各部署ごとにより詳細な内容が決められ実行されている。	特になし

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

2-3 事業計画

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	毎年度、目標達成のための事業計画を作成している。	学校全体での目標の共有化をさらに進めていく。	各種会議議事録

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学校の運営方針に基づいた事業計画が毎年度作成され、各部署で当該目標を達成すべく努力している。</p> <p>各部署の達成目標に対する進捗状況等は運営会議に報告され、目標達成のために必要な方策等が検討される。</p>	特になし

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

2-4 運営組織

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行なっているか	3	組織運営は適切に行なわれている。理事会・評議員会は寄付行為に基づき適切に開催し、必要な議決を行ない、記録に残している。	特になし	理事会議事録 評議員会議事録 運営会議議事録
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	3	運営組織図は教職員に回覧されている。	特になし	諸規則集 運営組織図

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>理事会・評議員会で決定された内容は、校長以下各部署のマネージャーにより開催される運営会議で伝達・説明・確認され、学校としての適切な意思決定が行なわれている。</p> <p>各部門・各部署の役割および所属者を明示した運営組織図がある。</p>	特になし

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

2-5 人事・給与制度

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	3	給与支給等に関する基準、規程を整備し、適切に運用している。	人事考課による処遇制度をさらに明確にし、教職員のモチベーションを図っていく。	諸規則集
2-5-2 適切な採用広報を行ない、必要な人材を確保しているか	3	新規採用基準・採用手続きは基準・規程等で明確化し、適切に運用している。公募・紹介などにより必要な人材を確保している。		

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>要員計画・採用計画・教員研修計画を通じて、人材の適切な確保と育成が行なわれている。</p> <p>また、人事・給与に関する規程も整備されており、法人本部により適切に運用されている。</p>	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

2-6 意思決定システム

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	3	理事会・評議員会、運営会議などの意思決定システムがあり、それぞれが機能している。	特になし	理事会議事録 評議員会議事録 運営会議議事録

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
意思決定システムは整備されており、規則・規程等で明確になっている。 また、意思決定までの合意形成も諸会議や稟議制度により合理的に進められている。	特になし

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

2-7 情報システム

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3	学生管理・授業料管理・人事給与管理等のシステムを導入しており、正確で迅速な対応を可能にするとともに、業務の効率化が図られている。	学園全体としてのシステムの整理統合の必要性が生じてきており、学園規模に見合った全体システムの構築を図っていく。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校における管理システムの多くはすでに導入されている。	特になし

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

基準3 教育活動

大項目総括

教務部門においては、校長を中心に教務部長、学科長を中心に教育目標、基本方針、学科内容、育成する学生像が決定される。そして、教育課程表編成の過程で教育活動の大枠が定められ、それに基づいて具体的な教育活動内容が決められ、実践される体制となっている。

各学科の教育目標・育成人材像は、各学科が想定する業界が求める人材像を目標としている。その目標・人材像に合わせて体系的に教育課程が編成されている。

入学時のオリエンテーションから各学科ごとに「将来、即戦力として働くことができる人材」になることを目標として、そのためにどのようなスキル等を身に付ける必要があるかを意識させ動機付けとしている。また、2年間のスケジュールを示すことで、資格試験などの目標を明確にすることができ、学習意欲の向上も図っている。

スキルの習得にあたっては、各種検定試験や資格試験の合格を目指した学習を通じて獲得できるようなカリキュラムを編成している。各科目の学習期間においては、日々の確認テスト等を通じて学生が自己の理解度を実感できる仕組みを設けている。

3-8 目標の設定

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3	学園の教育理念が具体化され、教職員への周知がされている。	特になし	学生ハンドブック
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3	入学時にオリエンテーションを行ない、学科の教育目標、将来像を明確にしている。	特になし	学生ハンドブック

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>教育課程(カリキュラム)の編成にあたっては、社会・時代のニーズを反映したものを作成し、適切な教育を適用するようにしている。</p> <p>各学科の教育目標、学習目標は、学生にもわかりやすい言葉で具体的に表現し、ハンドブックという形で在籍学生に提供している。</p>	<p>入学時のオリエンテーションで、ハンドブックを使用して在籍学科の教育目標、学習内容を明確に説明し、その後の学習意識の向上を図っている。</p>

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

3-9 教育方法・評価等

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3	就職後即戦力として活躍できる知識やスキルを身に付けた人材を育成するための課程編成を進めている。	特になし	教育課程表
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	3	関連する企業や業界団体の方からの意見を聞き取っている。	インターンシップの評価を踏まえた指導への反映はさらに深化させていく必要がある。	
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	2	将来を見据えたキャリアプログラムを編成している。	キャリア教育をより具体的に進める方策をさらに研究していく。	
3-9-4 授業評価を実施しているか	3	学生に対する授業アンケートを実施している。また、関連企業の方の評価もいただいている。	アンケートの内容及び実施時期の検討とその結果のよりよい反映方法を検討していく。	授業アンケート

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>実学実践をこれまで以上に業界・企業と連携して開発・導入していくことが必要である。</p> <p>就職に向けて、資格取得はもとより、さらに人間力・コミュニケーション力を強化していくことが必要である。</p> <p>学生に対して定期的に授業アンケートを実施しており、教員の講義技法の改善や向上の資料の1つとしている。</p>	特になし

留学生関係も入れるか？

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3	成績評価については、客観的な評価であることを示す資料に基づき判定している。		学生ハンドブック 講師業務マニュアル
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3	学科により異なるが卒業年次の最後に課題を作成し発表する機会を設けている。	作品及び技術評価が困難な学科には該当しない。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
成績評価・単位認定は、客観的な基準に基づいて実施するように指針が決められており、実施され、確認も行なわれている。	特になし

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

3-11 資格・免許取得の指導体制

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3	教育課程上での比重を大きくするとともに入学案内パンフレットや入学後のハンドブックで明示している。		入学案内パンフレット 学生ハンドブック
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	3	テキスト等を用意するとともに、授業中のチェックテストや答案練習(問題演習)等でも対応する体制になっている。	資格試験の傾向の把握と本校学生に適合した対策の検討を継続する。	入学案内パンフレット 各科目の主要教材・補助教材

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>資格については、各学科において目標とする資格・推奨する資格を定め、入学案内(パンフレット)および入学後の学生ハンドブックでも明示している。</p> <p>実務において必要とされる検定資格、国家資格、公務員試験等の取得・合格の目的に沿った十分なカリキュラム編成を行い、目標とするレベルから逆算して過不足のない科目、授業時間、進度を設定している。</p>	特になし

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

3-12 教員・教員組織

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
3-12-1 資格・免許を備えた教員を確保しているか	3	資格・免許を備えた教員を採用するとともに、既存の教員の資格・免許取得も進めている。	専門性を有する人材の採用ルートを確保すること。	求人票 募集要項
3-12-2 教員の資質向上への取組を行なっているか	3	教員研修、他教員の授業見学、学生によるアンケート等の手段により資質向上を図っている。	学内研修及び学外研修(企業研修や外部研修参加等)をより充実させる。	学生アンケート
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	3	各教員の専門分野ごとのグループ化を進めるとともに、情報やスキルの共有化も図っている。	特になし	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>教員の専門性や授業力については、学生の授業評価アンケートを実施することでその把握を行なっている。各教員の資質向上については、個々の教員が個別に行なっているが、教員間での授業見学や模擬授業研修などを実施することでその向上を図っている。</p> <p>また、今後は教員の専門性・実践性を高めるため企業や業界団体との連携による研修を更に進めていく必要がある。</p>	特になし

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

基準4 学修成果

大項目総括

学修成果については、資格取得と就職において初期の目標を達成すべく努力しており、さらなる向上のためにそれぞれの結果ならびに指導経過等のデータを集積し検討を重ねている。

就職に関しては、単なる内定獲得または有名企業への就職ではなく、個々の学生が就職後に「意欲的に働き・活躍できるか」を基準に就職活動をするように指導している。そのために、担任が中心となり入学当初から動機付けや指導を行い、個々の学生の資質にあった企業を選択できる指導を行えるようにしている。

各種検定試験・資格試験については、個々の学生に対する合格に向けた動機付け、理解度の把握、適切な助言だけでなく、対策授業の内容、教授方法等を含めた全体的な指導体制をより良くしていくために、必要なデータを蓄積したり、教科担当者の知識・指導力をさらに高めるための研修等も行なっている。

4-13 就職率

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	2	1年次より就職を意識させる授業を行い、段階的に就職活動を行うことができる構成にしている。	就職(内定)率の更なる向上と、正社員雇用を基本とする姿勢の堅持。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>就職については、1年次から関連科目の授業を行ない、就職率100%を目標に取り組んでいる。学科により取組が異なるが、キャリアサポート室が全体をとりまとめ学生への指導を行なっている。</p> <p>具体的な就職指導は、担任が中心となり学生個人の適性及び能力と属性を十分に考慮した指導を行っており、適宜キャリアサポート室の教員が支援・指導している。</p> <p>今後は個々の学生に対応した多様な就職先の開拓と学生に内定を獲得できる資質(スキルと人間性)を向上させる指導をさらに強めていく。</p>	特になし

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

4-14 資格・免許の取得率

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図れているか	2	学科ごとに資格取得目標が決められており、入学時からそれを意識させ取り組ませることで向上を図っている。	合格対策指導についての更なる改善・強化を図っていく。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
各学科ごとに取得目標資格を定め、それぞれ対策体制を整えている。	特になし

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	2	卒業生の勤務先にキャリアサポート室の教員や元担任が訪問している。	訪問企業の数はまだ十分ではない。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>卒業生の就職先には、キャリアサポート室の教員と旧担任が訪問している。</p> <p>また、担任が卒業生と相互連絡ができる関係を構築している場合もある。</p> <p>さらに、キャリアサポート室の教員および一般教員が企業を訪問し、企業ニーズの把握や卒業生の働きぶりなどを確認している場合もある。</p>	<p>本校夜間部の卒業生が働く提携企業とは特に強いつながりがある。</p>

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

基準5 学生支援

大項目総括

就職支援、経済的支援、健康管理、学生相談など学生支援の体制がある。

学生と担任との間で就職相談・進学相談・生活相談などの個別相談を行うことにより相互の結びつきを強め適切な学生支援ができると考えている。

そのため、現時点ではカウンセラーなどの専門的な人材が学内に常駐することが必要とは考えないが、今後の社会的な動きやニーズから検討していくことが必要となるとは考えられる。

保護者との連携は重要であり、学校スケジュールの節目ごとに報告書等を送付するなど、その体制はとられている。

卒業生への支援は、同窓会が存在していないため、個々の学生に対する再就職支援等の対応となっている。

5-16 就職等進路

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3	担任教員を中心に指導し、それをキャリアサポート室が補助・強化している。また、進路指導担当者会議を行い、情報交換を行うと共にアドバイスを交換する場としている。	内定率100%と各自の適性等に合致した(ミスマッチのない)就職の実現へ向けた対策を強めていく。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
就職指導については、2年間のカリキュラムの一環としてキャリアプログラムが組み込まれている。	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

5-17 中途退学への対応

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	2	担任による入学時の面談、長期休暇前の面談、毎日の出欠確認等を通じて、学生の状況を把握し早期に対応できる体制をとっている。	入学前の相互の情報交換を十分に行うこと(ミスマッチをなくすこと)と、入学後の継続のための指導体制(担任・教科担当・保護者等との連携)の強化。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学生が退学を選択するきっかけとなる時期・理由は多様化しており、入学時、長期休暇の前後、年末年始、学年末、新年度等の節目節目に担任による面談等を実施し、その兆候を発見するとともに早期の対応をするよう努力している。</p>	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

5-18 学生相談

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	3	入学直後に個別面談を行うことにより相談しやすい状況を作るとともに、週に1回HR的な授業を行ない相談を受けやすくもしている。	教員の学生相談スキルを向上させる。	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	3	基本的には担任が相談を受けるが、学生課はビザの更新等、経理部は学費関係等でそれぞれ相談を受ける体制となっている。	担任及び学生課が生活・進路・ビザ更新等の各分野をある程度分担しながら対応している現状の体制ををより緊密に効果的に行なっていく。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学生の状況を担任が毎週確認できるように、週に1回は必ず担任がクラスの授業を行うようにしている。これにより、早期に学生の情報を把握できるようにしている。</p> <p>また、入学後、長期の休み前など節目ごとに学生との個別面談を行なう機会を設けて、その都度、生活状況、進路(目標)、学習状況等についての学生の状態を把握し対応している。</p> <p>これらの情報については指導記録に残し、学生指導についてのケーススタディ(教員研修等)の資料にも使用している。</p>	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

5-19 学生生活

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3	学費分納制度を設けており、特に審査はなく申込みにより利用できる。また、保護者・学生からの申請に基づき、延納にも応じている。	特になし	
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	年1回、学校指定の医療機関等に依頼し、法に定められた健康診断を実施している。	特になし	
5-19-3 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	3	企業と提携し、管理人常駐の食事付寮を紹介している。また、その他の賃貸住宅等の紹介もしている。	特になし	
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	1	課外活動については、現在支援はしていない。	現在のところ、現状変更の予定はない。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>より多くの学生が就学できるように、経済面、環境面などについて支援体制を整備している。</p> <p>今後もニーズに合わせ、必要な支援体制を整備していく。</p>	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

5-20 保護者との連携

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	3	定期的に保護者宛に学習状況報告書等を送付するとともに、学生の状況に変化(遅刻・欠席・生活の乱れ等)があった場合には、その都度担任が電話連絡等を行なう体制をとっている。	保護者からの協力を得られないケースも増えてきており、その対策を講じていく必要がある。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>保護者への連絡・報告は、入学直後、長期休暇前、前期後期成績確定後、年末等、定期的に行なっている。</p> <p>保護者と学校との役割分担については、「学校では厳しく、家庭ではやさしく」を基本として対応することとしている。</p>	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

5-21 卒業生・社会人

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	3	卒業生への再就職支援等が中心である。	特になし	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2	卒業生の学び直しなどのニーズに対する付帯教育事業は行なっていないが、卒業生が授業を聴講することは可能である。	特になし	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	2	資格取得や就職(再就職)といった目的を持った社会人に対しても対応できるカリキュラムを用意している。	特になし	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>卒業生への支援については、旧担任と学科マネージャー、キャリアサポート室の教員が中心で対応している。担任・学科マネージャーは生活環境等を含めた全般について、キャリアサポート室は就職・進学を主に対応している。</p> <p>社会人に対しては、再進学制度による進学支援が中心である。</p>	<p>本校に同窓会はない。</p>

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

基準6 教育環境

大項目総括

教育施設・設備、インターンシップ等については、おおむね良好であるとする。

防災・安全管理については、まだまだ強化・充実させるべき点があると考えられ、これから具体的に対処していく。

6-22 施設・設備等

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3	施設・設備・機器類等は設置基準、関係諸法令に適合するように充実を図っている。ただし、校舎の老朽化が進んでおり、適宜メンテナンスを行なっている。	計画的な校舎改修計画、教育設備(PC機器・机・椅子等)入れ替え計画と予算の確保を図っていく。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
施設・設備等については関係法令に適合するように最善を図っている。 図書コーナー、PC教室及びPC利用コーナー等は整備済み。 学生の休憩・食事のためのスペースの確保も最低限は行なっている。	特になし

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3	インターンシップ先の企業の開拓、実施についてはキャリアサポート室が中心に行なっている。授業の一環として行なうもの、就職活動の一部として行なうものなどを区別して実施している。	インターンシップ内容の充実とその教育効果の質の向上。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学外実習については、専門学校として実践教育を高めていく必要があり、今後さらに充実させていく必要がある。</p> <p>海外研修については、経費や安全性等の面から実施を取りやめている。</p> <p>インターンシップについては、夜間部の学生は必須であり、昼間部の学生については、任意に又は就職活動の一部として行なっている。</p>	<p>インターンシップについては、夜間部の学生は提携企業先で実施することが必須となっている。</p>

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

6-24 防災・安全管理

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	2	防災意識をもたせる取り組みはしているがまだ不十分な面がある。	防災訓練でのより現実的な実地訓練が必要である。	防災マニュアル
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	2	在学生全員が学生総合保険に加入している。	特になし	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>基本的な安全計画は策定しているが具体的な面はまだ不十分である。</p> <p>避難経路・避難場所、誘導の方法等の再確認が必要である。</p> <p>今後は、独自の避難訓練を行なうとともに、消防署等の指導による訓練の実施も検討したい。</p> <p>学校は学生及び教職員の安全を第一とするべきと認識しており、危機管理マニュアルを常に見直し、安全対策や災害時の適切な対応ができる体制を整える。</p>	特になし

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

基準7 学生の募集と受入れ

大項目総括

18歳人口が減少する中、教育体制・教育成果を学生募集に反映できるように努力している。

学生だけでなく保護者及び高校等の教員にも本校が満足できる教育内容・教育体制を持っていることをしっかりと伝え、適切な選択のもとに本校進学を決定できるように学生募集を行なう。

7-25 学生募集活動

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3	学生及び保護者が入学判断をする際に必要な情報を入手できるように本校ホームページや学校案内で公開している。さらに進学相談会や学校説明会等でさらに詳しい説明を行なっている。	特になし	本校ホームページ 入学案内(パンフレット) 募集要項
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行なっているか	3	入学判断に必要な資料を目的別に制作している。また、応募に関する詳細が書かれた募集要項がある。	特になし	本校ホームページ 入学案内(パンフレット) 募集要項
7-25-3 留学生の受け入れについても戦略をもつて行なっているか	3	夜間部、昼間部の公務員関係コース以外で、目標とする資格、就職先に応じて、入学時に日本語能力を見極め適切な学科・コースに入学できるようにする基準を設けている。	留学生について適正な入学選考を実施できるように、選考方法を毎年検証・改善している。	本校ホームページ 入学案内(パンフレット) 募集要項

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学生及び保護者、高校教員に対して、的確な情報を提供し、進路選択について誤解のないようにしていくため努力している。</p> <p>留学生については、日本語学校への情報提供、連携を強めていくとともに、適正な受け入れ、能力に応じた教育、適切な在籍管理を行なっていく。</p>	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

7-26 入学選考

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3	年度ごとに基準確認を行ない、統一を図っている。	特になし	募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3	入学選考時の学生情報をもとに、学生の能力別クラスを編成し、授業内容もそれに対応する措置をとっている。	特になし	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>出願者である各学生に対して書類選考を行なっている。また、必要に応じて面接等も実施し、入学直後の進路変更がないように事前確認を行なっている。</p> <p>入学選考時に把握した情報は担任レベルまで落とし込む体制ができている。</p>	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

7-27 学納金

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定している	4	教育経費を積算して学費を算定しており、毎年金額を検証している。また、同分野の専門学校の状況も踏まえ、妥当な金額になっている。	特になし	学校案内(パンフレット) 募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適切な取り扱いを行なっているか	4	平成18年度文部科学省告示の趣旨に沿って適正に処理している。また、3月31日までに入学辞退の意思表示をした者に対しては入学金を除いた授業料等の全額を返金する旨を募集要項に記載している。	特になし	募集要項

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学納金に関しては、教材費等を含めた金額を提示し、入学希望者の家計負担金をトータルにイメージできるようにしながら、家計の過大な負担にならない金額を設定するように考慮している。</p> <p>また、学費納入についても、滞ることがないように、状況を確認している。</p>	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

基準8 財務

大項目総括

予算計画は、理事会において審議され、有効かつ妥当なものとなっている。また、予算の執行は、運営会議により定期的に状況の確認が行なわれている。このように、予算の計画と執行は適切に行なわれている。

学校法人監事による業務監査及び会計監査を受け、学園運営の法令及び寄付行為への遵守が確保されるように努めている。
学園の財務情報は本校のホームページで公開している。

8-28 財務基盤

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3	学生募集に関しては全体としては良好といえ、安定的な学校経営ができています。	特になし	事業活動収支計算書等の財務資料
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行なっているか	4	法人本部・経理部で主要な財務数値の月次・年次の把握分析が行なわれ、理事会で確認されている。	特になし	事業活動収支計算書等の財務資料

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学生募集については、学科・コースにより変動はあるが、学校全体としては良好といえ、財務基盤は安定しているといえる。</p> <p>具体的にはキャッシュフロー、消費収支差額比率などの数値が良好である。</p>	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

8-29 予算・収支計画

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	予算は本校の教育目標・事業計画に基づき法人本部・経理部で作成され、理事会での承認が行なわれている。	特になし	予算計画書 理事会議事録
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行なっているか	4	執行は運営会議での検討の後、決裁者の承認の下で適正に行なわれている。	特になし	予算計画書 運営会議議事録

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
当年度の重点項目・前年度実績予想との整合性を図りながら、健全な予算編成を行なっている。また、執行については定期的に運営会議で状況を確認している。	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

8-30 監査

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
8-30-1 私立学校法及び寄付行為に基づき、適正に監査を実施しているか	4	監事による監査を適切に実施している。	特になし	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校法人監事による業務監査により、法令または寄付行為の遵守と学園の財務の適正性を確保するようにしている。	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

8-31 財務情報の公開

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	本校の財務情報については本校ホームページで公開している。	特になし	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
本校の財務情報については本校ホームページで公開している。	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

基準9 法令等の遵守

大項目総括

学校教育法、専修学校設置基準などの関連諸法令に基づき、学校法人の寄付行為に則り、適切な運営がなされており、教職員への周知も行なわれている。

自己点検・評価は今後継続して実施していく方針である。点検・評価の結果を踏まえて、問題点を改善していく際には重点項目を挙げて実施していく。また点検・報告については本校ホームページで公開していく。

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか	3	学校運営に関わる諸法令を遵守し、また法令に従い種々の申請・届出・報告等の諸手続きを遅滞なく確実に実施している。	学生に対しても喫煙マナーの徹底などの指導を継続・強化していく。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>設置基準及び関係法令等に基づき、学校運営を行なっており、必要な諸届等は適切に行なっている。</p> <p>教職員及び学生に対する法令遵守の方針・姿勢の周知徹底をさらにしていく。</p>	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

9-33 個人情報保護

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3	個人情報の保護に関する意識は教職員に浸透していると考え、より具体的な方策等を充実・強化していく必要がある。	安全管理措置をさらに維持・強化していく。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
個人情報については、個人情報保護法の趣旨に則り、在学生及び資料請求者、学校説明会参加者、出願者等の個人情報を慎重に取り扱っているが、今後さらに管理を徹底させていく方針である。	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

9-34 学校評価

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3	自己点検・評価を毎年実施し、改善点を見出し、校長の管轄下、改善を行っている。	今後も継続・深化させていく。	自己点検・評価報告書
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	3	自己点検・評価は、教職員に公開し、本校ホームページでも公開している。	特になし	本校ホームページ
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3	年1回学校関係者評価委員会を開催している。	今後も継続・深化させていく。	学校関係者評価報告書
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	3	学校関係者評価を本校ホームページで公開している。	特になし	本校ホームページ

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学校関係者評価の体制を充実させその成果を具体的な教育内容に反映していくように更に努めていく。</p> <p>学校関係者評価については本校ホームページで公開している。</p>	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

9-35 教育情報の公開

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行なっているか	2	学校の概要や教育内容については本校のホームページ等で公開している。しかし、教職員に関しては公開していない。	情報公開の内容と方法については、今後改善していく。	本校ホームページ

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
本校の概要や教育内容については、本校のホームページ等で公開している。しかし、教職員の情報に関しては対象としておらず、今後の検討課題となっている。	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

基準10 社会貢献・地域貢献

大項目総括

付帯教育事業や地域貢献については、まだ不十分な点が多い。
今後は教育における社会貢献及び地域への貢献について、具体的に検討していきたい。

10-36 社会貢献・地域貢献

		現状認識	
小項目	自己評価		課題／改善方策
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行なっているか	2	付帯教育事業は近年休止している。地域への貢献はわずかではあるが施設の提供を行なっている。	どのような貢献ができるか、今後検討していく。
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	3	留学生の受け入れについては、昼間部では公務員関係のコースを除き、すべての学科・コースで受け入れ可能であり、実際に受け入れている。	特になし

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>付帯教育事業については、近年は休止しているが、時代・社会にニーズに応える教育事業について検討していきたい。</p> <p>地域社会への貢献についても、具体的にどのようなことが可能か検討していきたい。</p> <p>留学生については、夜間部と昼間部の公務員関係のコース以外のすべての学科・コースで受け入れ可能である。</p>	<p>留学生の受け入れに関して、本校は適正校である。</p>

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

10-37 ボランティア活動

小項目	自己評価	現状認識	課題／改善方策	参考資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行なっている	2	ボランティア活動募集の掲示は行なっているが、参加者は多くない。		

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
公共・公益団体等からのボランティア活動募集について、校内掲示板にポスターの掲示を行なうなど学生に対して積極的に案内・奨励を行なっているが、実際にボランティア活動に参加する学生は多くはない。	

【自己評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切